

わたしたちの
あたまのなか



田名部 晃平

『音色の感性学：音色・音質の
評価と創造』

『空間音響学』

『聴覚モデル』

『音楽はなぜ心に響くのか：
音楽音響学と音楽を解き
明かす諸科学』

『サイン音の科学
：メッセージを伝える音の
デザイン論』

『コンサートホールの科学：
形と音のハーモニー』

『音響バブルとソノケミスト
リー』

『聴覚の文法』

『ピアノの音響学』

『音場再現』

『視聴覚融合の科学』

『音声は何を伝えているか
：感情・パラ言語情報・個人性
の音声科学』

『音と時間』

『FOTO法で見る音の世界』

『音のピッチ知覚』

『低周波音
：低い音の知られざる世界』

『聞くと話すの脳科学』

音響サイエンスシリーズ 

思春期が終わっていないので、【音】と見ると、物質の分解や洗脳や衝撃波で戦う能力者が思い浮かびます。こんな大人になってはいけない。

分解も洗脳も衝撃波もまだ出せませんが、「音響サイエンスシリーズ」は、いま実現可能な【音】の応用／効能がまとめられていて、門外漢でも面白かったのでまとめてみました。普段はバラバラに配架しているので、よければ。